

## 城端曳山会館／土蔵群「蔵回廊」

城端曳山会館では、郷群、傘鉾、数寄屋造りや寝殿造りの料亭やお茶屋を模した庵屋台・袴履豪華な曳山が常設展示してあります。彫刻の妙と漆の美をこらした伝統と技術の結晶をごゆっくりご堪能ください。

資料展示館の蔵回廊が隣接しています。



## 入館料(1人1回につき)

|         | 個人   | 団体(15名以上) |
|---------|------|-----------|
| 一般      | 510円 | 410円      |
| 高校生・大学生 | 300円 | 250円      |

■開館時間／午前9時～午後5時

※中学生以下は無料

## 交通の案内



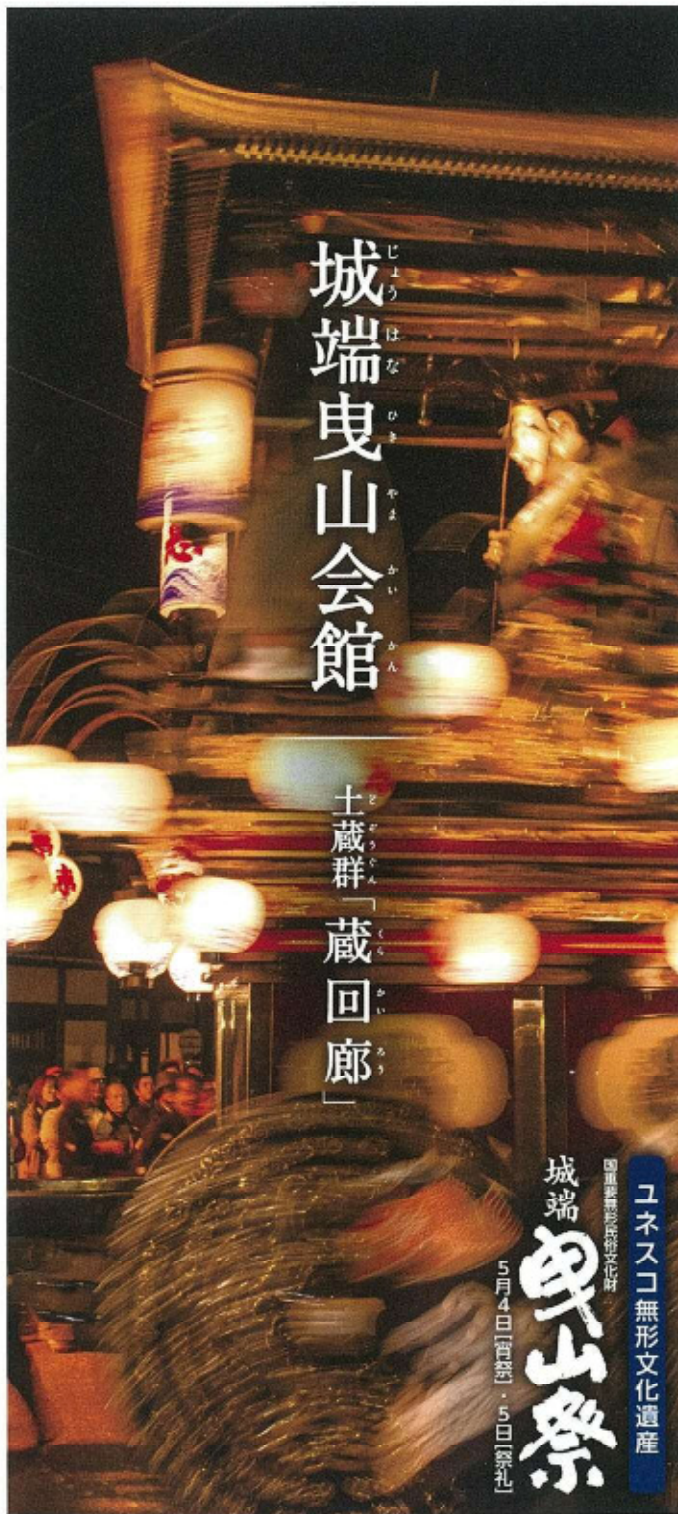
|            |                          |        |
|------------|--------------------------|--------|
| 東 京～新高岡    | ……(北陸新幹線利用) ……           | 2時間40分 |
| 大 阪～新高岡    | ……(特急サンダーバード・北陸新幹線利用) …… | 3時間00分 |
| 名古屋～新高岡    | ……(特急しらさぎ・北陸新幹線利用) ……    | 3時間15分 |
| 新高岡～城 端    | ……                       | 50分    |
| 東 京～福光I.C. | ……関越・上信越・北陸自動車道 ……       | 7時間    |
| 大 阪～福光I.C. | ……名神・北陸自動車道 ……           | 4時間    |
| 名古屋～福光I.C. | ……東海北陸自動車道 ……            | 2時間20分 |
| 名古屋～福光I.C. | ……名神・北陸自動車道 ……           | 3時間20分 |
| 福光I.C.～城 端 | ……                       | 5分     |

## 城端案内図



## 城端曳山会館 土蔵群 蔵回廊

TEL(0763)62-2165 FAX(0763)62-2180  
〒939-1864 富山県南砺市城端579番地3



# 城端曳山会館

# 土蔵群「蔵回廊」

# 城端曳山祭

5月4日(土)・5日(日)

ユネスコ無形文化遺産

## 曳山祭の成立と展開



郷群・傘鉾・神輿行列

永禄2年(1559)城ヶ端城主荒木大膳の願いにより、浄土真宗の善徳寺が福光村から移りました。城端はその寺内町・門前町として開かれました。

その後、城端は絹織物の町として繁栄し、元禄文化の花が開きました。ところが、享保期になると経済が不況となり、その打開のために人びとは神をまつり、招福除災、町内繁栄を祈ったのです。

享保2年(1717)に神輿がつくられ、獅子舞や傘鉾の行列も始まり、享保4年8月15日の祭りには曳山ができて、享保9年には神輿の渡御にお供しました。

その後、文政年間(1818～30)には城端絹が京から江戸へ移出され、化政文化の影響を受けて庵唄や庵屋台が整備され、優雅な曳山祭になりました。明治6年(1873)から太陽暦採用により、祭礼日の変更が協議され、曳山祭は5月15日に決定しましたが、平成18年から5月5日(4日宵祭り)に変更になりました。また、曳山や庵屋台の装飾も次第に豪華となり、今日に継承されています。